ガーベラ
花言葉…「希望」「前進」など

元気でキュートなイメージで花束やアレンジメントに人気の花。 飾ると周囲が明るくなります。

花のお便り

2022.10　No.196

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

10月に入りました。混戦が続いていたプロ野球パリーグも昨日優勝が決まりました。それにしても最終戦までもつれ込むのは最後まで目が離せなくて面白いですね。私の好きなラグビーも来年のWCに向けて日本代表の練習試合が続くので今からとても楽しみです。と言う事で秋と言ったらスポーツの秋！涼しくなってきたのでウォーキングを再開しようと思います。

喪中はがき承ります

冬季オリンピックに衆議院議員選挙、国葬にと色々な事がありました今年も年末が近づいてきました。喪中はがきのご準備は大丈夫でしょうか？
喪中はがきを送る時期は、相手方が年賀状を準備する前の11月の中旬から12月の上旬（5日まで）にポストへ投函するのが一般的ですが、忙しい年末にバタバタしないよう早めに準備しておくと安心ですね。
喪中はがきの正式名称は「年賀欠礼状」といい、喪中期間中の正月に「新年を喜ぶ挨拶を控えること」を詫びる意味合いがあります。注意すべきは、「訃報を知らせることが目的ではない」という点です。
書き方やマナーで困った事がある方はお気軽にご相談ください。
また、カタログをご希望の方にはお送りしますのでお気軽にお申し付けください。

あや姉さんの気まぐれエッセイ「秋のおすすめショートミステリー3冊」

秋の夜長に読書はいかがでしょうか？今回は私がおすすめするミステリー小説をご紹介します。東野圭吾さんや湊かなえさんが好きな人は是非読んでみてください。

・薬丸 岳「刑事のまなざし」
テレビドラマにもなっている夏目刑事の短編集。重く切ない内容、話は二転三転していきながらも、ラストは希望をと願わずにはいられなくなる作品。夏目刑事の心に訴えかける言葉に涙が止まらなくなります。

・小林由香「ジャッジメント」
被害者の遺族が加害者に同じ内容で罰を与える「復讐法」が制定された世の中の話。もし自分の大切な人が被害者になったら、その苦しみや悲しみや怒りはどこにぶつければいいのか？非常に重く考えさせられる内容です。

・天祢 涼「葬式組曲」
お葬式を通じて遺族の悲しみ、死との向き合い方などを葬儀社の目線から展開していきます。特に1話目の「父の葬式」は読者をいい意味で裏切る感動がありますので、是非とも一読して頂きたいと思います。

以上、重くて読後感があまりスッキリしない小説の紹介でした（笑）